

堺から‘世界’へ ～自分の将来を見つめよう～

中学2年生対象

目標

これまでの子ども堺学の学習や職場体験などを踏まえて、中2の自分が将来に向かってどのように生きていきたいかを、特に多文化共生の視点からまとめ、語るプログラムである。堺の中にも多文化・多言語状況があることや、多くの異なる背景の人々が住み、さまざまな国際交流の取組があることを学ぶ。そして、グローバル化する現代において、国際社会の一員として、どのような意識や態度をもつことが必要かを考える。

プログラム概要

- ① 堺の歴史(過去)における異文化との接触・交流について、自分たちが住む町である堺における多文化・多言語状況(現在)について紹介する。
- ② グループを作り、堺市の多言語・多文化状況、国際交流の様子、外国人に対する支援やサービス等について調べる。(時間があればインタビュー)
- ③ 日本に住む外国人の課題を紹介し、外部講師を招いて、堺市での生活や、多文化社会の課題を話してもらったり、交流会を開いたりする。
- ④ 国際化社会で自分が大切にしたいことについて、将来どんな知識・技能・態度を持った大人になりたいかについて考え、グループで話し合い互いの考えを伝え合う。
- ⑤ 資料を作成し、将来、市民社会の一員として、多様性のある社会環境づくりにどのように関わっていききたいかを発表する。

授業時間数

10時間

外部講師 教育資源の活用

・堺市立国際交流プラザ、アセアン民間大使(留学生)
・外国につながる子どもたち、地域日本語ボランティア(堺外国人日本語クラブ等)、UN WOMEN堺、ベトナム総領事館 ほか

主な教科等 関連教科等

主となる教科等:総合的な学習の時間
関連教科等:外国語科、国語科、社会科、道徳

他の分野への応用

「子ども堺学」 ポータルサイトの活用

[トップ](#) → [教員ページ](#)

<http://sd.sakai.ed.jp/>

学習の流れ

① オリエンテーション

《ねらい》

過去と現在の堺の国際交流・異文化接触について学ぶ。
最終目標をもつ。

《授業の進め方》

- ① プレゼンソフトなどを使って過去の歴史や現在の多文化状況について説明する。
- ② 市民社会の一員として将来どのように生きていくかを考え、自分の意見をまとめるセッションであることを認識する。

② グループ調査



《ねらい》

堺市の多文化・多言語状況について、多様な観点から調べる。

《授業の進め方》

- ① 調査する観点・シートの使い方を説明する。
- ② 調べたことを紹介し合い共有する。
- ③ 現在、自分たちが関わっている社会の状況について発表する。
- ④ もっと知りたいこと(外部講師への質問)についてまとめる。

③ 外部講師交流会



《ねらい》

滞日外国人や、国際交流関係者から、堺における国際交流の現状や課題についての話を聞く。(または、留学生や外国につながる子どもたちとの交流会をする。/「読み物資料」を用いて外国人の想いを知る。)

《授業の進め方》

- ① 前回まとめた質問をする。
- ② 講演内容をシートにメモし、感想をグループで共有する。

④ 外部施設訪問(予備)

《ねらい》

堺市の国際交流の様子を知る。

《授業の進め方》

- ① 堺市国際交流プラザなどを訪問する。
- ② グループで決めた視点から観察し、メモを取る。
- ③ 調べたこと、学んだことを共有する。

⑤まとめ



《ねらい》

これまで調べたことや聞いた話を振り返り、国際化する社会において、大切にしたいと思うことについて、意見を出し合う。

《授業の進め方》

- ①これまでの感想を共有する。
- ②キーワードを出し合い、発表する。

⑥発表資料の作成



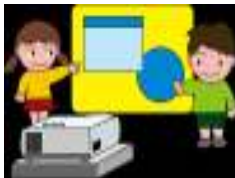
《ねらい》

前回の発表をもとに、将来どんな大人になりたいか、社会にどう関わっていくかについて考え、話し合う。相手に伝わりやすい資料を作成し、自分自身の原稿を作文に書く。

《授業の進め方》

- ①発表資料づくりなど役割分担しグループ発表の準備をする。
- ②各自の意見を原稿にまとめる。
- ③完成したグループからリハーサルを行う。

⑦最終発表会



《ねらい》

今後の自分の志について、クラス内で発表し合う。

《授業の進め方》

- ①発表前の最終確認を行う。
- ②学級内でグループ発表を行う。
- ③作文を提出する。
- ④(学年で発表を行う。)
- ⑤活動を通して学んだこと、ついた力を振り返る。